

CSR（企業の社会的責任への取り組み）について

港湾運送事業を通じ社会に奉仕するという大東港運グループ理念の下、社会から信頼されるよき企業集団となることを目指し、また豊かな社会作りとその持続的発展のため、社会貢献活動に取り組んでおります。

社会貢献活動BOXの設置



社内に社会貢献活動BOXを設置し、従業員から不要なものを回収しています。回収した物品は協賛団体・企業に売却して換金され、社会福祉法人 港区社会福祉協議会のボランティア活動推進事業、特定非営利活動法人 JENの「スクールサポートプログラム」を支援しています。

2019年3月までに以下の数を寄付させて頂きました。

- ・使用済の切手 11.7 k g
- ・使用済のカード 267枚
- ・使用済インクカートリッジ 12.5 k g
- ・未使用のはがき 234枚
- ・未使用のテレホンカード 8枚

専用掲示板の寄贈



東京都港区立芝浦小学校へ交通安全意識の高揚を図るための専用掲示板を寄贈しています。
 ※専用掲示板（朝日写真ニュース社作成。交通安全標語等を掲載、交通安全意識の高揚を図るもの。当社名が寄贈者として掲載されております。）

エコキャップ活動



NPO法人エコキャップ推進協会の趣旨に賛同し、全社でペットボトルキャップの回収活動を行っています。この活動で回収したペットボトルキャップはNPO法人エコキャップ推進協会を通じて、換金され、医療支援・ワクチン支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。2019年3月までに合計315,321個（約734kg）のペットボトルキャップを回収しました。また、CO2削減効果も約2,310kg分となっております。

みなと区民まつりの「福祉バザー」へ物品を寄付



社会福祉法人港区社会福祉協議会が主催する、みなと区民まつりの「福祉バザー」へ衣料品、石けん、タオル、シーツ等の日用雑貨、かばん、靴、傘、せともの、食料品、玩具、アクセサリなどの物品を従業員から募り、寄付しています。福祉バザーの収益は、社会福祉法人港区社会福祉協議会の地域福祉推進事業に使われています。

カレンダー・手帳の有効活用



毎年、年末にお取引先様などから頂くカレンダー・手帳の中から、社内で使いきれなかったものを集めて、社会福祉法人港区社会福祉協議会、港区内の社会福祉施設へ寄付しています。集まったカレンダー・手帳は、港区社会福祉協議会を通じて港区内在住の高齢者の方へ配布されています。

2019年3月までに以下の数を寄付させて頂きました。

- ・卓上カレンダー 227点
- ・壁掛けカレンダー 311点
- ・手帳 86点
- 計 624点


BOOK MAGIC / スクールサポートプログラム



誰でも参加できる社会貢献活動の一つとして特定非営利活動法人JENの趣旨に賛同し、BOOK MAGIC/スクールサポートプログラムに参加しています。

社内に読み終えた本、聴かなくなった音楽CDや観終わったDVD、使用しなくなった携帯電話等を回収する専用BOXを設置し、従業員から集めています。集められたものは中古書店ブックオフが買い取り、その資金がJENのアフガニスタン、イラク、ハイチ、スーダン、宮城県石巻市での教育支援事業「スクールサポートプログラム」に役立てる活動です。

2019年3月までに23,248円を寄付させて頂きました。

 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト



公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行っている「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」趣旨に賛同し、従業員から不要な小型電子機器を回収して、

- ・携帯電話 11台
- ・デジタルカメラ 6台
- ・電子辞書 1台
- ・電卓 2台
- ・その他付属品 12点
- 計 32点

を寄付させて頂きました。

この活動で回収された小型電子機器はリサイクルされ、東京オリンピック・パラリンピック2020大会の入賞メダルの製作に使用されます。

今後も様々な施策に取り組んでまいります。